

from1ワンとお取引頂きましたユーザーさまにお届けするニュースレター。

発刊者 (有)from1ワン

川口市東川口1-16-6-2F

TEL 048-291-2240

FAX 048-291-2242



代表 山本 達也

取り扱い業務

FAX/コピー機/複合機

リサイクルトナー等サプライ品

業務用IP電話システム

電話工事/LAN工事

インターネット環境のコンサルティング

「1から」通信

発行部数 400部 平成25年春号(31号)

暖かくなったり、肌寒かったり。それでも心地よく感じる日が多くなってきましたね。(有)from1ワン 山本です。

甘えん坊でお調子者の息子が、最近「強さ」に目覚めてしまいました。剣道をはじめたせいか、「サムライ」に興味を持ち、家の中でもオモチャの日本刀をベルト穴に二本差し。

エア殺陣で敵をバツバツとなぎ倒し……と思いきや、アレ、なんか変? もとい、バツバツとやられまくっています。

やられては立ち上がり、またやられては……。

まさにひとり悪役商会。

私 「なんでやられてばっかりなのよ。」

息子 「お父さん、じつはネ。ハアハア、本当に強いのは最初から強い奴より、負けてもあきらめない心、ハアハア、なんだよ。」

ジーン。(お前……いい」と言っつな(涙)

その後も、ハアハア言いながら、やられ続ける息子と感動しながら、「今のやられ方サイコー!」とビール片手に応援している私たち親子は、どこか間違っていないでしょうか……

それでは、二〇一三年春号です! !



息子の愛刀コレクション
上から2番目が一番のお気に入り♪

1万5千人以上の死者を出した、東北の震災から2年以上が経ちました。

アメリカ 9.11テロの5倍以上の方々が亡くなり、未だ3千人近い方が行方不明であることを想うとやはり言葉が見つかりません。

今回、弊社の業務とは直接関係がありませんが、自然災害時の安否確認手段の重要性を思い起こしNTTの「災害用伝言ダイヤル(171)」についてお伝えしたいと思います。

いざという時ご利用できるよう、マニュアルコピーも同封しますのでご参考下さい。

災害用伝言ダイヤル(117)とは？

災害が起こった場合、親類、知人の安否を確認するため、被災地への電話が爆発的に増え、電話がつながりにくい状況となります。

被災地への安否を確認したい。被災地から安否を伝えたい。

そんな時、重要な安否確認の為にNTTが緊急に提供開始する、声の伝言板サービスが【災害用伝言ダイヤル171】です。

提供の開始、登録できる電話番号、運用方法について

状況に応じてNTTが設定し、テレビ・ラジオ・ホームページ等を通じて皆様にお知らせいたします。

ご利用できる電話番号

災害用伝言ダイヤルがご利用可能な電話は、一般加入電話、ISDN回線 公衆電話、ひかり電話、災害時にNTTが避難所などに設置する特設公衆電話になります。携帯電話・PHSからも利用できますが、詳しくはお客様がご契約されている通信事業者へご確認をおすすめします。

登録できる電話番号(被災地電話番号)

災害により電話がかかりにくくなっている地域。エリアの設定は、おおむね都道府県を単位として行います。

「災害用伝言ダイヤル」に登録できる電話番号は、「被災地内の電話番号」です。
被災地内からのご利用の場合も電話番号は必ず市外局番からダイヤルしてください。

※被災地以外の電話番号をダイヤルした場合、「被災地以外の電話番号ではご利用できません。被災地の方の電話番号でご利用ください」とのアナウンスが流れます。

*被災地からの伝言の録音が優先されますので、提供開始当初は、被災地以外からの録音のご利用を制限される場合があります。(再生はできます)



災害用伝言ダイヤル(171)体験利用

災害用伝言ダイヤルは常時提供されているサービスではありません。
災害発生に備えて利用方法を事前に覚えていただくことを目的として、
体験利用できる日時が設定されています。

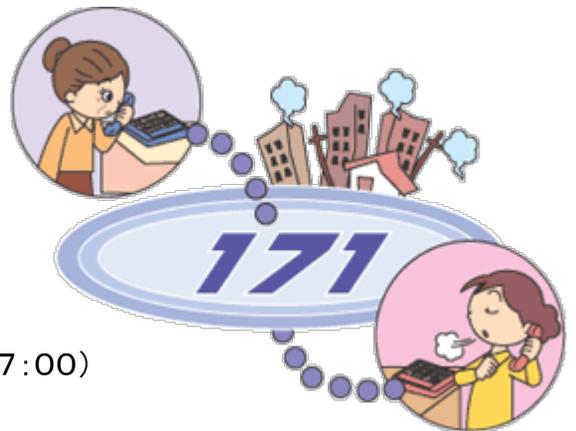
体験利用提供日

毎月1日、15日 00:00～24:00

正月三が日(1月1日00:00～1月3日24:00)

防災週間(8月30日9:00～9月5日17:00)

防災とボランティア週間(1月15日9:00～1月21日17:00)



【編集後記】

今回ご紹介したこのサービスにおいてキーとなるのが、「固定電話の番号」です。
通常の連絡手段として、最近では携帯やメールの方が一般的になっている為、携帯番号や
メアドは知っていても、固定電話の番号は・・・？という方も多いと思います。
このようなサービスの必要性がないことが理想ではありますが、春は出会いと別れ、そして
引越しシーズンでもあります。
大切な方々の「固定電話の番号」は、お互いに周知しあっておきたいものです。
疎遠になってしまった友人・知人。久しぶりに固定電話で連絡してみる、というのも良いかも
しれませんね。それではまた夏号で。

子供達が剣道を始めるきっかけとなり
以前おすすめ本でご紹介しました「六三四の剣」。
作中の重要なシーンには必ず登場し、六三四達を
見守り続ける象徴として描かれていた岩手山。
娘達がどうしても見に行きたいとのことで、
ゴールデンウィークに家族で岩手まで行きます。
本物の岩手山を見て、子供達がどう感じるのか
今から楽しみでなりません。



盛岡市の北上川から望む岩手山